

■ 林 利彦 議員 令和3年 第1回定例会 代表質問

コロナウイルス感染症対策

問 取組と市長の考え方は。

答 令和2年2月に対策本部を設置し20回にわたり協議。今後も市民の皆様の健康をお守りするために必要な取組を行ってまいります。(市長)

問 市長は、市内感染者情報を全て把握しているのか。

答 県の公表に基づき市HPや情報メールで市民の皆様にお伝えしており、その情報は全て把握しております。(市長)

問 八千代PCRセンターの体制と利用状況は。

答 設置後、感染者数増加に伴い8月からは一日の実施可能検査数を9件から12件に増やし対応。最多は7月の115件。最少は12月の23件。2月も減少傾向。要因は、医療機関でのPCR検査が増加し、検査体制が整備されてきているためと考えられます。(健康福祉部)

要望 庁舎内のカウンター・職員の机の飛沫防止柵をコロナ禍で緊急を要するので財政調整基金を使用し設置すべき。

市庁舎建設

問 昨年9月議会でコロナウイルス感染症の収束が見えてきた段階で事業を再開すると答弁されたが考え方は変わっていないか。

答 再開時期の変更はございません。新しい生活様式に関して、現在の基本計画が十分に対応していると言い難い状況が見えてきたことから、今後、議会で設置している市庁舎特別委員会での議論を踏まえ基本計画の見直しを含めた計画変更についても判断してまいりたい。(市長)

要望 市庁舎建設は早期に。本庁舎には来庁者含め1,200人位いると想定される。いつ発生するか分からない地震による倒壊等の危険性は大きく、市民・職員の命にかかわるので。

阿蘇小中一貫校

問 開校に向けて進捗状況は。

答 学校施設環境整備を進めており、通学方法は安心安全を第一に協議中。新校名案・制服は、引き続き協議を進め、夏

頃公表を予定。(教育委員会)

問 開校時の児童・生徒数と学級数の見込は。

答 520名。通常学級が各学年2学級の18学級。特別支援学級が小中各2学級の4学級。計22学級を予定。(教育委員会)

問 通学支援バスの便数と必要経費の額は。

答 全3ルートを複数便計画。約2千万円の見込み。(教育委員会)

問 廃校予定の3校についての今後の考えは。

答 教育財産としての用途を廃止した上で活用を図るが、活用方法の検討については、設立準備委員会の保護者、地域連携部会、地域の方々などの御意見を伺いながら進めてまいります。(財務部)